

広報

あづみの

Azumino City
Public Relations
NO.28



トピックス

contents

- 行政経営改革プラン 22
- 地域交流学習センター検討委 24

連載

- 安曇野日和 28
- 生涯学習だより 30
- 健康と福祉 34
- 情報ボックス 36

もうすぐ
おねえちゃん。

安曇野生まれのオオシロ・タリッサちゃん(4)。
この冬には弟が誕生する。

安曇野のブラジル

特集 ◎ O Brasil dentro de Azumino

特集

安曇野のブラジル

O Brasil dentro de Azumino

99,247分の2,254、
市民45人に1人が外国籍となります。
そしてその半数は、ブラジル国籍。
スーパーで、駅で、学校で、
日常目にする隣人たちの姿。
どれだけ知っていますか、
安曇野に息づく、もう一つの世界。





左がジュニオールさん(25)。穂高で暮らして10年になる。右が妻ミカさん(23)、下が長女タリッサちゃん(4)、中央が二女サーラちゃん(2)。

家族とお金の話

日常に生きる

オオシロ ネストル ジュニオールさん 25歳

Oshiro Nestor Junior

マッド・グロッソ・ド・スウ州→穂高

ブラジルから来た皆さんは
どんな思いを抱きながら
どんな生活を送っているのでしょうか。
「等身大のあなたを教えてください」
市内で暮らす3人の日常を追いました。

Episódio 1

エピソード
家族と仕事

「男の子でしょう」。市内の産婦人科の医師が2人にそう告げた。

妊娠6カ月の検診の日、ジュニオールさんと妻ミカさんの第3子は、初めての男の子であることが、この日分かった。

ジュニオールさんの仕事の終業時間は朝6時。検診には、ほとんど付き添うことができる。

出産の時期に帰国する人が多いことは知っている。それでも、この地で新しい命を迎え入れようと2人は決めた。

家族は日常を生きていくための力。一緒にいれば、どんな苦勞も乗り越えられると信じている。

僕の履歴書

ジュニオールさんが生まれたのは、マット・グロッソ・ド・スウ州ドーラドス。州の西北部一角には、世界的に有名な大湿原地、パンタナールがある。家は牧場を営んでいて、70頭の敷地には、オランダから移入されたギロラデという茶褐色の牛を放牧している。

近くには、ジャッカという大きな果物のなる木や、魚が釣れる小川もあった。休日は近所の友だちと牧場でサッカーをしたり、パチンコで鳥やネズミを捕って遊んだ。

「働く」ことは、日常のすぐ隣にあった。10歳の時、自転車がほしいと父にねだると、牧場内にある4頭のトウモロコシ畑の管理を任せられた。

放課後、父にトラクターの運転の仕方や土づくりなどを教わり、6カ月すると、仕事が一通りこなせるようになった。すると父は、約束どおり自転車を買ってきてくれた。

その翌年、父は経済的な事情で日本へ出稼ぎに行った。

それ以降、ジュニオールさんは牧場の主要な働き手となった。朝3時に起きて牛の世話をし、午前中は学校、午後は再び牧場に向かうという日が続いた。休日は全くなかった。

3年間、父は家族と離れ、孤独を経験していた。その状況は残された家族もまた、同じだった。

そして、15歳のジュニオールさんは日本に行くことを決意する。「もう父に出稼ぎはさせない」。



「私もだっこ」と、タリッサちゃん。



Episódio 1

エピソード
家族と仕事

土曜日は家族そろって
食事ができる大切な時間。
中央奥はジュニオールさんの父。

Vivendo o dia a dia

辛く、悲しい思い出

来日して最初に勤めたのは市内のプラスチック部品製造会社だった。家族的な会社で、社長はポルトガル語の辞書を片手に、仕事を丁寧に教えてくれ、身の回りの心配もしてくれた。

一方、まちでは「差別」を経験した。来日して間もない16歳の時。休日となり、上田に住む友人に会いに出かけた日のこと。駅の改札口を出ると、突然一人の男が目の前に現れジュニオールさんの腕を強引に引っ張った。

男は、ジュニオールさんを引きずりながら強い口調で何かを言っている。そこからは「ガイジン」という言葉が聞き取れた。自分をのしっているようだった。

——誰かが不正乗車をして、その犯



タイムカードを押し、勤務が始まる。
左はポルトガル語で「入(社)」、右
には「出(社)」と書かれている。

生活者として市民として

vida de cidadão

バブル期の外国人登録人口激増から10年以上が経ち、その形態も変化しつつあります。そのひとつは「出稼ぎ」といわれた短期滞在から、家族で長期滞在するケースが増えてきたことです。市の外国人相談窓口には毎月100件ほどの生活相談が寄せられ、その数も増加傾向にあります。

6年前から安曇野の状況を見続けてきた市外国人相談員のハケオ・アルベスは「保険や税金など日常生活に関することや教育の問題など、相談の内容も多様化してきました」と指摘します。

また、「住民の意識も少しずつ変わってきました。違いを認めた上で尊敬し合える関係を、さらに築ければ」と話します。お互いの理解を深めていく中で、地域社会の一員として受け入れる姿勢が必要となります。



ハケオ・アルベス

豊科総合支所勤務 外国人生活相談員

は、往復を繰り返して、いつまでたっても何も残せないでいる」。

自分たちは、母国から日本へ逃げてきたのではない。愛すべき人を守り、その生活を支えている今、胸を張って、そう言い切れる。

そして、ミカさんのおなかには、小さな命が宿っている。

予定日は11月20日。

穂高で10回目の冬を迎えるころ、ジュニオールさんは、3人の父親になる。

7:00

>>

夜勤を終えたパパが帰宅。二女サーラちゃんがお出迎え。



9:30

>>

お風呂に入れるのはおばあちゃんの役目。手際良く孫たちに服を着させる。

12:00

>>

今日のお昼は「フェイジョン」。豆とベーコンを煮込んだ料理。ごはんにかけて食べる。パパはそろそろ寝る時間。



16:00

>>

パパのお弁当を作る。おなかの大きいのでぼちぼちやる。

19:10

>>

本日の勤務がスタート。ジュニオールさんについて、上司・坂口係長の評価「信頼できるし、信頼してくれる」。





日系移民 1 世の回顧録

カネシジいちゃんの昔話

兼次 盛達さん 69歳
Kaneshi Seitatsu

那覇市→サンパウロ州→豊科

1959年10月、ブラジル・サントス港に向け1隻の移民船が出港した。船の名前は「あるぜんちな丸」。戦後の移民輸送を象徴する大型船である。白い船体が岸壁をゆつくりと離れると、2、700人の乗客の多くは、栈橋を埋め尽くした人たちに手を振った。そしてその船には兼次盛達さんの姿もあった。

この瞬間から、盛達さんの長い旅が始まることになる。

焼け跡から

盛達さんは、1937年10月、兼次家の三男として沖縄県那覇市で生まれた。同年は盧溝橋事件が勃発するなど、日本が軍国主義に傾いていた時代である。

1944年10月、盛達さん7歳、国民学校1年の時のこと。

本土空襲に先駆けてアメリカ軍の激しい空襲が沖縄を襲った。戦火をくぐり抜け、父に抱かれて墓場の中や那覇から80^{キロ}離れた国頭の山へと逃げ込んだ。まちは1週間燃え続けた。

警防団長だった父と母は戦争が原因で亡くなった。盛達さんは戦後の混乱の中、時にはネズミやヘビを食べ、生き抜いた。

A história do senhor Kaneshi

青年期を迎え、あてもない日々を送っていた盛達さんは、ある新聞広告を目にする。――南米移住者募集――。

戦後日本は、614万人の旧植民地からの引き揚げ者と8、000万人の自然増により、過剰人口が発生していた。そして、その解決手段の一つとして海外移民を奨励していた。

「何とかして今の状況を抜け出したい」。盛達さんはトランクを片手に、新天地へと向かった。

ゲタプッタ！

サンパウロに入り、最初の仕事は、露天でのバナナ売りだった。

まず、覚えた言葉は「ボンジュール（おはよう）」、「ウン、ドイス、トレス（1、2、3）」。そして次に覚えたのは「ゲタプッタ！（ろくでなし）」という言葉だった。悪い言葉とは知っていたが、生き抜くために必要な言葉だった。

1年ほど働いて、その後は日雇いの仕事を中心に何でもやった。

当時、移住者のほとんどは家族移住で、盛達さんのような縁故のない単身移住者はわずかだった。

それでも、現地では5人の単身移住者と知り合いになり、同じ境遇を生きる者同士、意気投合した。

しかし、そんな友人たちも数年しないうちに次々と病んでいった。

1人は精神障害を引き起こし帰国。1人は肺病を患い病死。そして、残りの3人は、自らの命を絶った。

結局、知り合った友人すべてが、盛達さんの前から姿を消していった。

自分の番は、いつだろう――。盛達さんはいつしかそう考えるようになっていた。

豊子さん

サンパウロ市から南西に50^{キロ}ほど行くと、日系人が多く暮らす町、モジ・ダス・クルーゼスがある。そこに豊子さんの実家があった。

豊子さんは「植民地」と呼ばれる日系農場で生まれ育った。植民地とは、雇用農として働くことを嫌った戦前移民が独立して形成した地区である。

地域には日本人会ができ、日本人学校



週に1回、長女のナオミさんの車で買い物に出掛ける。北穂高にあるブラジルの雑貨店で日用品をまとめ買い。



妻の豊子さん(68)と孫のサユリちゃん(11カ月)。

História

信州からブラジルへ

安曇野市からもブラジルへ移住した人が各地域にいますが、取材で確認できました。また、安曇野市の在外選挙人名簿によると、ブラジル居住者は12人います。この制度は任意であり、大使館に出向くなどの手続きが必要なことから、実際には、さらに多くの居住者がいると推測されます。

ブラジル移住の歴史を振り返ると、移民時期は3つの期間に大別できます。

第1期は1908年の「笠戸丸」移民が始まりです。笠戸丸には165家族、781人が乗船しました。長野県出身者では「矢崎節夫」がいたといわれています。移住者の大半は、日本に帰ることを前提としたコーヒー農場の出稼ぎ労働者でした。しかし、収穫が思うようにいかず、遠い日本に帰れなくなった人がほとんどでした。

第2期は移民最盛期で、1923年ごろの経済不況から始まり、第2次大戦で終わります。そして、この時期から永住を決意する移民が増え始めます。これは1923年に始まった信濃海外協会のアリアンサ移住地建設が大きな役割を果たしたといわれています。この団体の総裁は長野県本間知事でした。そして「コーヒーよりも人をつくれ」という人に重点を置いた方針が、日本移民を永住志向に変えるきっかけを作りました。

第3期は戦後で、政府の渡航費全額補助が制度化されました。グアタパラ移住地建設では長野県を含む7県が参加。送業務は県農政部が担当していました。

戦前、戦後と合わせると長野県からは5,869人がブラジルに移民しています。

幾多の歴史を乗り越え、日系人はブラジル社会に完全に根を下ろしました。国内での日系人の評価は非常に高いようで、現在も総人口の1％に満たない日系人が、最高学府・サンパウロ大学の学生の約18％を満たすなど、「勤勉」な傾向が現在も受け継がれています。

そして再来年は、日系移民100周年を迎えます。



1964年当時のサンパウロ州郊外のピワ畑。左は明科総合支所勤務の平川千夏の父。——ブラジルの大地に夢を紡いだ。

9:30 >>
おばあちゃんと一緒に大丈夫。



9:00 >>



豊科保健センターで、孫のサユリちゃんの予防接種の日。仕事で来られないお母さんのピンチヒッターはおばあちゃん。

10:00 >>

接種が終わり、タクシーで帰宅。「お疲れさまでした」。



14:30 >>



午後は少しだけ眠る。その前には必ず活字に目を通す。西村京太郎や内田康夫が好み。

15:00 >>

きれい好きの豊子さん。キッチンはいつも整然としている。



再び日本へ

も建てられた。豊子さんは、そんな日系人社会の中で教育を受けた。失意の中にいた盛達さんは、同僚の紹介で豊子さんに出会った。

日本的な魅力を引き継ぐ豊子さんは、盛達さんの生きる希望となった。休みの日は、鉄道で1時間半かけて豊子さんに会いに行った。1年間の交際を経て、2人は結婚した。

結婚してからはサンパウロ市カハン地区に引っ越し、3人の子どもを授かった。当時のブラジルは所得格差が激しく、2割ほどの富裕層と多くの貧困層が社会を構成していた。盛達さんは働き詰めの毎日を送ったが、給料はほとんど上がらない状態が続いていた。食費もままならないこともあったが、近所同士のカンパや励ましに支えられた。何とか子どもたちを高校まで行かせようと、家族は団結した。

1989年7月、57歳になった盛達さんは、再び日本の地にいた。神奈川県の大手自動車会社で働いていた。

この年、ブラジル国内のインフレ率は、過去最高の2、800％に達した。100円で買ったパンが、2800円になるような状況だった。まだ学生だった3人の娘たちを支えるためにも、日本国籍を持つ盛達さんは、「出稼ぎ」に出る決意をした。

娘たちは日本からの送金を頼りに高校を卒業し、それぞれ独立した。

そして日本に出て7年後、娘たちも日本で働きたいと言うようになった。

現在、盛達さんは、豊科のアパートに妻、長女とともに暮らし、田沢団地には二女夫婦も暮らしている。仕事は引退し、昼間は孫の面倒を見たり、家

事を手伝ったり、花を育てたりして過ごしている。

娘たちは今のところ、サンパウロに帰りたいとは言わない。

各地を巡りながら運命を切り開いてきた盛達さんは、「おれにそれを言う権利はない。ただ、がんばれと言うだけ」。遠い日の自分と重ね合わせている。

Episódio 2

エピソード
時代

二女ミユキさんの住む田沢団地へ——。この日は部屋の掃除当番。





帰宅に使う快速電車の前で。左がミヤコさん。右はテニス部のチームメート百瀬さん。
最近、百瀬さんはミヤコさんとはじめてケンカをした。ケンカの理由は「わたしの話を聞いてくれなかったから」。
その日に仲直りした。

「はじめ日本が嫌いで、その次はブラジルが嫌いに……。でも今は、両方とも好き」。

松南高校2年生のムラヤマ・ミヤコさんは、ブラジル第2の都市、リオ・デ・ジャネイロ生まれ。母国語より日本語が堪能で、両親の通訳をしたり、時には小学5年生の妹の参観日に出席したりもする。日本の食事を好み、音楽は浜崎あゆみやジャネット・ジャクソンを聞く。

ミヤコさんは16年前、両親とともに日本に移住した。まだ赤ん坊だったミヤコさんは、1歳の誕生日を成田に向かう飛行機の中で迎えた。

父のマサノリさんは当初、1年半くらい働いて、母国に帰るつもりだった。

しかし、家族はしだいに日本の環境や習慣になれ、経済的にも安定した生活ができたため、帰国予定はどんどん先送りになった。

しかし、マサノリさんには将来、母国で計画していることがあり、いつかは家族で帰国したいと考えている。

私の学生生活

18歳のチケット

ムラヤマ ミヤコさん 17歳

Murayama Miyako

リオ・デ・ジャネイロ州 → 明科七貴

母国にいたら

ミヤコさんは、明科の保育園に通い、小学校に入学した。周りになじめないと感じたことはなかったし、取りたてて、さみしいという思いもなかった。

そんなミヤコさんが、日本を嫌いになったのは小学校3年生の時。

ブラジルの転入生が増えてきたことや、漢字の勉強が苦手になってきたことがきっかけで、自らの国籍について考えはじめるようになった。

「何でもみんなが日本人で、わたしは外国人なのだろう。ブラジルにいたら別の生活があったかもしれない」。

多くのクラスメートと距離をおくようになり、心も離れていった。

小学校を卒業し、中学に入学しても自分の国籍への違和感は続いた。入学式では「外国人がいる」という声が聞こえ、戸惑いを感じた。

しかし、クラスで取り組んでいた「新聞作り」がミヤコさんの転機となった。ミヤコさんが作った新聞は、母国ブラジルについて調べたものだった。

紙面の右半分には、日本とブラジルの学校の違いや習慣の違いなどについて書き、左半分には「ボンジア（おは

よう）」など、みんなに覚えてもらえそうなポルトガル語を書いた。

「ミヤコちゃん、外国語がしゃべれるんだ」と声を掛けてくる子や「筆記体のアルファベットの書き方を教えて」と言ってくる友だちもできた。

日本を嫌う気持ちは、いつの間にか、なくなっていた。

友だち

クラスメートとの信頼関係が深まると、大事な友だちや慣れ親しんだ環境と離れるのが怖くなってきた。いつかブラジルに帰ることを思うと、心が曇った。

帰国について、両親と話し合う機会があると、「帰るんだったらひとりで帰って」と言い放った。近くに住む叔母が「日本は地震が起るかもしれないよ」と冗談まじりに言くと、「それならわたしも日本と一緒に沈む」と言い返した。

そんな2つの国の狭間で揺れ動く思いを、クラスの親友に打ち明けた。

「日本人だろうが、ブラジル人だろうが、ミヤコはミヤコだよ」。そう言うてくれた。

ミヤコさんは泣きたかった。

そして、その言葉は、自分を奮い立たせ、前に進む勇気を与えてくれた。

Episódio3

エピソード
学生生活



7:30 >>

松本方面のホームへー。
みんな眠そう。

8:10 >>

駅から学校へ。この日は朝から雨がパラつく。
「部活できるかなあ」。



9:10 >>

2週間後に控える
修学旅行の打ち合
わせ。行き先は
...グアム！



17:30 >>

ただ今、部活の真っ最中。
校舎から声援。「がんばれ〜」。



>>

19:00

帰りは他校に通う中学の同級生と合流。
同級生は不審なカメラマンをジロリ。
ミヤコさん爆笑。



高校進学

中学3年になり、周りの友だちが進路を決めていく中で、ミヤコさんも高校を受験することを決意した。

「小学校、中学校ときたんだから、ここまできたら高校まで行かないとものたない」。

中学を卒業したら、帰国を勧められるものと思っていたが、両親も「最後はミヤコ自身が決めることだ」と納得してくれた。

高校の入学式では、喜びと同時に「本当にきちゃった」と、自分の行動力に驚いていた。

高校でも友だちに恵まれた。

クラブ活動では、硬式テニス部に所属した。部員はミヤコさんも含め2人。同じクラスで後ろの席に座っていた百瀬さんに一緒にやろうと誘われた。今は来春のインターハイ地区予選に向け、毎日2時間の練習を2人で励んでいる。目標は県大会出場だ。

勉強は苦手な科目もあるが、中学の時には分からなかった国語の問題が、最近、分かるようになってきた。

分かる喜びとは、こんなことをいうのかもしれないと思った。

さよなら日本

そして、もう一つ変化が起きた。

今年の夏、家族で中房川に遊びに行った時のこと。ミヤコさんはお父さんに自分の進路について話した。

「高校を卒業したら、ブラジルに行ってみようと思う」。

自分のルーツである母国をもっと深く知りたいと思った。

「ミヤコの口からその言葉を聞けるとは思わなかった」とお父さん。視野が広がることで、ミヤコさんの可能性も広がると考えている。

ミヤコさんは、日本とブラジル、どちらが好きかと聞かれれば、うまく答えることができない。

「それをはっきりさせると、傷つく人もいると思うから。この先も一生、選ばないと思う」。

ブラジルに行ったら1年間、母国語の勉強をして、母国の大学を受験しようと思っている。そして、今よりもつと成長して、日本のみんなに再会したい――。それが今の目標だ。

3年前、家族でブラジルに行った時、手にしたのは往復の航空券だった。けれど、高校卒業後に手にするチケットは、片道にしようとしている。

Educação

外国籍児童生徒と公教育

市の小中学校には80人ほどの外国人児童生徒が在学しています。その内、日本語の指導を必要とする子どもは30人います。そして、その受け入れについては、日本語の習熟度の違いや国籍の多様化などで苦慮している面もあります。

また、県内に住む外国籍の子ども33%が小中学校に通っていないという統計があります。

外国籍の人に就学の義務はありませんが、潜在が長期化すれば、未就学による教育の差が社会的な底辺化を進めかねません。

明北小学校で講師を務める市外国人相談員・平川千夏は「行政だけでなく、親側の努力も必要」と話します。仕事の事情で学校と接点が少ないなど不利な条件が重なれば、満足のいくような教育が難しくなります。

課題は複雑ですが、それぞれの立場から考えていく必要があります。



平川 千夏 (ひらかわ・ちな)

明科総合支所勤務 外国人生活相談員

まな娘2人に囲まれて。中央が父のマサノリさん。右が妹のミドリさん。



なぜ、国内への人口移動が進んだか。

長野県は全国で6番目
安曇野市は県で5番目

安曇野市は、外国籍の皆さんが多く暮らしています。
この11月1日現在で、市に外国人登録をする皆さんは2、254人いて、市人口の2・2%を占めています。日本に暮らす外国人は総人口の1・5%であることから、全国的にみても比率が高いことが分かります。そして、約

半分、1、027人がブラジル国籍です。日本に暮らすブラジル人は、約27万人。長野県は全国で6番目、安曇野市は県で5番目に多く生活しています。ちなみに、ブラジル人が多く住むまちとして有名なのは、愛知県の豊田市、静岡県の浜松市、群馬県の太田市や大泉町などです。
これらの都市は、自動車工場などの製造業が盛んな都市という点で共通しています。

サンパウロ市
南米最大の近代都市で主要産業が集中する経済の中心地。人口は約1,090万人で、ブラジル全体の6%が集中している。



1990年が転機

外国人登録人口に変化が表れたのは、90年代半ば。
市で最も人口の多い穂高地域では、90年には113人だった外国人登録人口が、2005年には1、036人に急増しました。国籍別にみるとブラジルが圧倒的に多く、95年に247人だった人口が、2005年には587人になっています。

このきっかけになったのは、90年の「出入国管理法および難民認定法」(入管法)の改正です。この改正では、日系人を受け入れるための在留資格が新設されました。
具体的には、日系1世で日本国籍を

卵が先かニワトリが先か

この資格の新設は、日本人との血縁的つながりに着目したもので、直接的には、国内の経済効果などをねらいとするものではありませんでした。

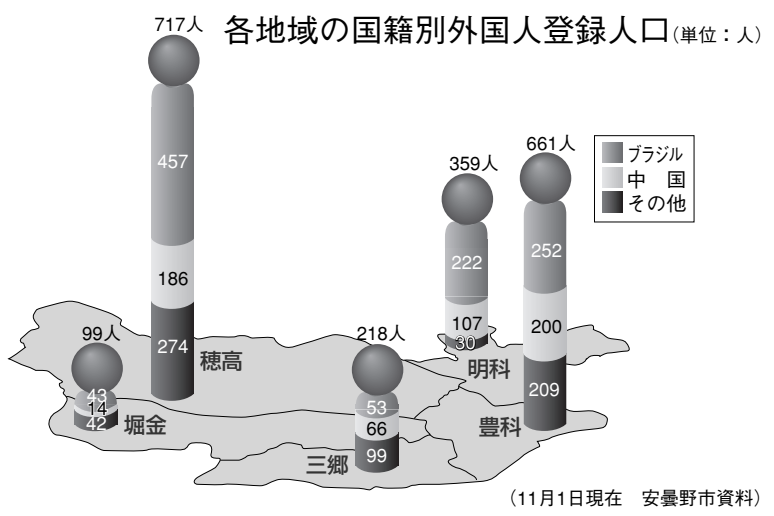
放棄した人や2世には「日本人の配偶者等」の在留資格を、日系3世とその配偶者には「定住者」の在留資格を申請できるというものです。
これらの資格の在留期間は1〜3年。旅行などの短期滞在で来日した場合でも、滞在中に資格変更手続きが可能で、滞在期間を更新することができます。そして、就労は制限がなく、ほとんどの職種に就くことができます。

工業都市としての安曇野

観光産業や農業のイメージが強い安曇野市。その一方では、工業都市としても強い地盤を持っています。
2005年の工業統計調査(速報)によると、安曇野市の「製造品出荷額」は8,597億19万円(前年比136%増)で県内トップ。2位である松本市の5,113億1,339万円を大きく上回っています。
また、同調査の「原材料使用額等」は5,341万900万円で、こちらも県内最

大となっています。この数字は市内の工業系メーカーに力があることを表しています。
今年行われた国勢調査に目を転ずると、15〜64歳の人口は、県全体では4万8,258人(2.2%)減少している中、市は721人(0.9%)増加しています。このことから、市内もしくはその近郊において、雇用の需要があることが推測できます。

しかし、当時の日本はバブル期であり、人手不足が深刻化していました。また、送り手側のブラジルでは、長期的なインフレが続いていました。
この両国の経済状況が絡み合い、日本―ブラジル間の人口移動が、急速に加速したのです。
「卵が先かニワトリが先か」。その議論は堂々巡りしています。



市民活動のご案内

最後に、在住外国人の支援や交流活動を行う市民団体を紹介します。市民はすでに、課題と向き合い、将来の展開を見据えていました。各団体とも、活動を支えるスタッフを募集しています。詳しくは、各代表までお問い合わせください。



Azuminoハートネットワーク
場所・穂高会館
問 代表・丸山 美枝さん
(TEL090・1869・9547)

日本語教室 **無料**
毎週日曜日 午後7時～9時
文化教室
《リズム＆ダンス》 **無料**
毎週日曜日 午後7時30分～9時
《書道》 **無料**
第1日曜日 午後7時～9時
《着付け》 **無料**
第3日曜日 午後7時～9時



豊科日本語教室
場所・豊科ささえあいセンター
問 代表・佐藤タカエさん
(TEL72・4376)

毎週日曜日 午前10時～正午 **1回100円**



三郷日本語教室
場所・三郷公民館
問 代表・津村 孝夫さん
(TEL080・1050・3131)

毎週土曜日 **無料**
午後7時30分～午後9時30分



少子高齢化と外国人労働者

外国人労働者の受け入れを拡大するか否か……。そんな議論が国や経済界で活発になっています。

その背景には、少子高齢化などで働き手が減ることへの危機感があります。2030年、日本の労働力人口は現在より1,000万人減り、女性や高齢者が現在より働くようになって500万人減ると国は試算しています。

国の基本的な考え方

日本は、いわゆる単純労働者など「専門的、技術的分野と評価されない労働者」の受け入れには、慎重な姿勢をとっています。

しかし、就労に制限のない日系人や開発途上国への技術移転のため就労できる「研修・技能実習生」は、合法的にこれらの分野で働いているなど、実態とは大きな隔たりがあります。

今年9月、法務省のプロジェクトチームは、こうした問題を受けて「今後の外国人の受け入れに関する基本的な考え方」を取りまとめました。

この案では、新たに「特定技能労働者」という分類を示しました。

これは、「専門的、技術的と評価さ

れない」としてきた労働者を、条件付きで受け入れようというものです。その条件とは、「一定の日本語能力」や「入国当初から雇用契約」があることなどです。

また、日系人の受け入れと研修・技能実習制度は見直され、原則、この制度に一本化することを想定しています。そして、すでに滞在している日系人は、日本語教育の施策を実現することを前提に、一定の要件を課すことが検討されています。

地域社会の問題でもある

これらの問題は、国政だけの問題ではありません。外国人労働者が実際に生活するのは、地域社会です。

90年の入管法改正で、地方に外国人労働者が急増した時期、国と地方の連携は必ずしも良好ではありませんでした。

住民に直結するサービスを担う自治体は当時、急増した外国人労働者に十分な対応ができないことが多く、情報不足やコミュニケーション不足から、住民とのあつれきが生まれた地域もありました。

お互いの理解もなく、生活環境も整備されていないまま、安易に受け入れ

「同化」でなく「融和」

私たちのまちは、異なる者同士が交じり合い、地域を構成しています。違いを認め、それを否定しないこと――。

そして、その上で融和し合い、それぞれが積極的に社会に参加できれば理想的です。しかし、私たちのほとんどが、無知から誤解や偏見を抱いてしまうのが現状です。まずは、お互いの理解を深める根気が必要となります。

今はその道程にいます。

地域の「国際化」はどこまで進むか。



フルサトハ、アヅミノ。

11月13日、午前8時。

ジュニオールさん、ミカさんの長男が誕生しました。名前はヨウスケ。母国にいるミカさんの父と同じ名で、ジュニオールさんが命名しました。

この日、北アルプスは雪化粧となり、有明山にかけて、大きな虹がかかりました。この子の人生に何度か登場するだろう心象風景は、安曇平から望む北アルプスの峰々や、この日のような雪景色になるのかもしれませんが。

今回の特集では、ブラジルから来た住民の日常を追ひ、その心の思いを探りました。悲しみ、喜び、嫌悪、尊敬、笑い、怒り。それは、わたしたちがこの地で日々続ける営みを追うことでもありました。

世界の真ん中は、東京でもサンパウロでもなく、このまちの中にある——。99、000分の1の新しい物語が、今、花開こうとしています。

【参考文献】

●ブラジル日本移民80年史（移民80年史編集委員会）●地球の歩き方ブラジル（ダイヤモンド社）●扉を開けて（信濃毎日新聞社編）●外国人労働者新時代（ちくま新書）●ブラジルへー日本人移民物語（草の根出版会）●世界2004年1月号●ニューズウィーク日本版2006.6.14号●時の動き2006.6月号●朝日新聞2006年9月3日記事「人口減で明日は」●ブラジル移住の概要（長野県国際課）

※今回は、紙面の都合上、行政経営改革プランの主な取り組みのみを掲載しました。
※大綱、答申文などの関連資料は市ホームページもしくは各総合支所地域支援課でご覧いただけます。

安曇野市行政経営改革プラン（具体的施策と取り組み）



- 広報・広聴の充実** 広報紙の配布方法を見直し、市民意見聴取方法の体系化 など
「広報あづみの」をすべての世帯に迅速に配布するため、平成19年度から新聞折り込みとします。また、市民のご意見をお聴きする機会・手段の整備に努めます。
- 市民参加システムの構築** 市民参加指針の策定、市民活動センターの設置 など
地域やボランティア・民間非営利団体（NPO）などの活動を支援し、市民と行政が協働するまちづくりを進めていく体制を整えます。



- 経費の削減** 補助金の見直し、財務分析の公表、入札および契約方法の見直し など
健全な財政基盤を確立するために、経費の削減に努めます。また、市の財政状況を市民に分かりやすくお伝えできるよう、財務分析を公表します。
- 自主財源の確保** 収税等収納率の向上、公告事業導入の検討、市有財産の整理処分 など
市税等の収納率向上を目指し、コンビニエンスストアでの納付など、納付環境の整備に努めます。また、新たな財源を確保するため、市有財産の整理処分・ホームページへの広告掲載等を検討します。



- 定員管理の適正化** 定員適正化計画の策定、退職奨励制度の検討 など
合併後10年間で「職員104人を削減」という新市建設計画における目標の達成に向け、定員適正化計画を策定します。
- 給与の適正化** 評価制度の給与への反映、時間外勤務手当の縮減 など
人事評価による結果を給与に反映するシステムを構築します。



- 事務の効率化** 『一職場一改善運動』による事務改善、電子決裁などの導入検討 など
「一職場一改善運動」による事務事業の改善などで、事務の効率化を図ります。
- 事務事業の見直し** アウトソーシング計画の策定、行政評価制度の導入、イベントの統廃合 など
費用対効果の視点から廃止を含む事務事業の見直しを図るため、行政評価制度を導入します。また、前述した定員適正化計画を、市民サービスを低下させることなく着実に推進するため、アウトソーシング（業務の外部・委託化）計画を策定し、推進していきます。



- 組織の効率化** 本庁・総合支所の総合的な見直し、類似した委員会・協議会等の統廃合 など
総合支所の機能を「窓口業務」・「地域の住民生活に直接かかわる行政分野」・「住民組織や住民の主体的な活動を支援し、住民と協働する地域づくりの推進」として掲げ、市民にとって分かりやすい総合支所のあり方を検討するとともに、本庁組織の見直しを行い、効率的な行政組織の確立を目指します。
- 職員の意識改革** 人材育成基本方針の策定（評価制度の導入・研修体系の確立） など
人事評価制度の導入、研修体系の確立を柱とする「人材育成基本方針」を策定し、職員の意識改革に努めるとともに、時代の変化に的確に対応できる人材の育成に努めます。
- 既存法人（外郭団体など）の見直し** 第三セクターの見直し方針の確立 など
市が出資する第三セクターのあり方を含めた見直し方針を確立するほか、市が事務局等を担当する団体の自主的・主体的な運営への移行を目指し、見直しを図ります。



- 効率的な管理運営** 指定管理者制度の導入、低・未利用施設の有効活用 など
公共施設について、指定管理者制度を積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営に努めます。

安曇野市行財政改革大綱

【基本理念】

- 社会経済情勢の変化に対応した、簡素で効率的な行政システムを確立
- 行政自らが行財政運営全般にわたって検証を行い、最小の経費で最大の効果を上げることができる行政運営システムの確立

【基本方針】

I 市民と協働し 市民に信頼される市政の実現

重点項目1

市民との協働による市政の推進

II 市民志向の質の高いサービス を提供する市政の実現

重点項目1

健全な財政基盤の確立

重点項目2

職員管理・給与の適正化

III スリムで時代の変化に柔軟な 行財政の実現

重点項目1

業務の効率化

重点項目2

スリムで柔軟な
組織・人事体制の構築

重点項目3

公共施設の効果的利用

※三位一体の改革

「国から地方への税源移譲」「国庫補助負担金の削減」「地方交付税の見直し」の3つを一体的に行う改革です。

簡素で効率的な 行財政経営を目指して

安曇野市行財政改革大綱（第1次）・行政経営改革プラン

大綱などの策定にあたり、素案段階で多くのご意見などをお寄せいただきました。ありがとうございました。

安曇野市行財政改革大綱（第1次）
行政経営改革プラン

本市は昨年10月1日に新設合併し安曇野市になりましたが、合併協議の段階から合併を「行政運営見直しの好機」ととらえ、先例や慣例にとらわれることなく事務事業や各種手当などの見直しを行ってきました。

成長を望むことができない厳しい情勢の下で、構造改革や規制緩和、地方分権の流れを加速させる「三位一体の改革」が進む一方、市民ニーズや地域の課題が複雑かつ多様化しています。このような状況の中、市民主権のまちづくりを推進していく

ためには、これまで以上に行政能力の向上と、行政改革への積極的な取り組みが求められます。また、地域の力、個性や創造性の発揮がこれからの時代を乗り切るための鍵となっています。そこで市では、市行政改革推進委員会の答申を踏まえ、今後

の行財政改革の方向性を示す「安曇野市行財政改革大綱（第1次）」とその実施計画となる「行政経営改革プラン」を策定しました。今後、市では、この大綱等に基づき簡素で効率的な行財政経営を推進していきます。

交流学習センターの「あるべき姿」とは

合併前、旧豊科町・旧穂高町・旧三郷村では、図書館を核にした交流学習センターの建設を検討していました。

安曇野市が誕生し、各施設建設計画が新市に継承されました。市では「安曇野市」としての視点から、それぞれの施設の検証をするため、平成18年2月に委員20人で構成する「安曇野市地域交流学習センター施設検討委員会」を設置しました。



平林市長に報告書を手渡す益子委員長

同委員会では17回の会議、2回の公聴会を開催しました。その検討結果を報告書にまとめ11月16日、市に提出しました。

平林市長は報告書の提出を受け、「地域の皆さんのさまざまな思いが込められ計画されてきた施設。財政状況は厳しいものがあるが、整備に向け着実に歩みを進めたい」と話しました。市では、財源や事業の優先度などを考慮しつつ、この報告書の趣旨を尊重し、市民の学習・交流の場として、皆さんの要望に応えられる施設を目指し整備を進めます。

※報告書の全文は、市ホームページ、教育委員会・社会教育課、各教育課窓口、各図書館に備えてありますので、ご覧ください。

2 全体像

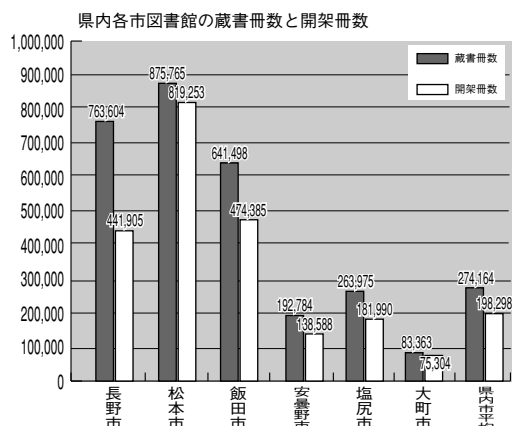
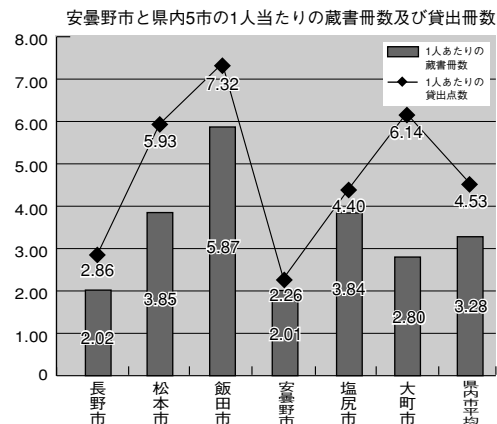
中央図書館(本館)と分館の整備と機能、役割の分担
図書館の蔵書を大きく2つに分けると、残すべき史資料的な図書(貴重書、研究書、全集など)と、多くの人が広く利用できる身近な図書があります。残すべき史資料的な図書は、中央図書館(本館)にまとめて管理し、広く利用できる身近な

報告書(抜粋)

1 現状と問題点

市の図書館サービスの現状を把握するため、県内他市の状況を調査、比較しました。

安曇野市は、県内で6番目に人口の多い自治体ですが、5図書館の合計の蔵書冊数と開架冊数、一人当たりの蔵書冊数と貸出冊数、利用登録率は、いずれも県内19市の平均値を下回っており、他市と比較して充実した図書館サービスの提供しているとは言いがたい現状です。



明科図書館を除く4館は、いずれも狭小で図書館というより、公民館図書室程度の規模です。そのため、豊科、三郷、堀金の図書館は、車いすや乳母車も書架の間を通りにくい状態です。また、館内に憩える場所がなく、交流の場にはなりにくい状況であり、いろいろな年代の人が気軽に訪れてくつろげる雰囲気ではありません。また、情報技術(IT)、視聴覚関係設備等も整っていないため、若い人たちにとっても魅力ある場所とは言えない状況です。

市民誰でも心地よく利用できる施設であるべき

図書館は誰もが気軽に集まれるような施設であってほしいと考えます。すべての人に優しい施設であり、また市民にとって図書館は身近な存在であることが必要です。気持ちが落ち着き、心が癒され、文化の薫りのする「来るだけで何か知的な気分になれる」空間であるべきです。

1. 豊科交流学習センター

- 豊科文化ゾーン内の豊科近代美術館に接続し、なるべく美術館南の芝生を生かすよう配慮して建設。
- 近代美術館のロマネスク調の外観にマッチし景観を損なわないよう配慮した外観を持つ建物
- 「近代美術館をより充実させる機能」、「安曇野市豊科図書館」、「市民の交流スペース」のそれぞれを有する複合施設として整備。
- 美術館機能としては、大型絵画がゆったりと鑑賞できる「ギャラリー」、立体的に活用できる200席程度の「多目的ホール」、現在分散している市所蔵の美術品等を集中させて保管できる「収蔵庫」等を整備し、豊科近代美術館を内外から安曇野市の基幹美術館として認められる美術館とする。
- 豊科図書館は、市内図書館の中では分館の位置づけとし、蔵書規模は約66,000冊、美術関係の図書資料を充実させるなどの特色を持った図書館とし、地域市民の生涯学習の場となる学習研究機能や講座開催機能、また子育て支援の機能を有すものとしたい。
- 市民が気軽に集い、自由に活動できるオープンスペースの交流の場や付帯設備を整備し、多目的ホールや学習機能とも連携させ、活発な市民の交流の拠点としたい。(穂高・三郷にも同文が掲載)

2. 穂高交流学習センター

- 穂高のワシントングラウンド(元穂高小学校跡地)に「中央図書館」と、地域学習の場であり地域情報のセンターともいえる「地域学習館」、「市民の交流スペース」の複合施設として建設。
- 中央図書館は、市内図書館の本館の位置づけであり、市民の誇りとなりうる機能的でデザイン的にも優れた図書館。
- 蔵書規模は、専門書等も含めて約20万冊(開架15万冊、閉架5万冊)とし、市内図書館では唯一資料保存機能を有し、これら資料を活用した学習研究機能や講座開催機能も全市的視野で整備することとしたい。また、子育て支援機能等の穂高地域における地域図書館として必要な機能も整備。
- 地域学習館は市民が主体的に安曇野の歴史や人物、文化、自然等を学習研究し、その成果を発表、展示し、地域文化を高めようとする施設であり、多様な活動が十分可能となるよう200席規模の多目的ホールをはじめ、各種学習室や展示スペース等を整備。

3. 三郷交流学習センター

- 三郷中学校北に、「三郷児童館」と「三郷図書館」、「市民の交流スペース」の複合施設として建設。
- 三郷児童館は、計画を含め唯一児童館空白地域となっている三郷地域の児童対策や子育て支援施策の拠点となるもので、十分な規模と機能を備えた施設として、早急に整備されたい。
- 三郷図書館は、市内図書館の中では分館の位置づけとし、蔵書規模は約55,000冊、地域市民の生涯学習の場となる200席程度の多目的ホールなど学習研究機能や講座開催機能、また子育て支援の機能も有すものとしたい。

4. 堀金交流学習センター

- 蔵書規模38,000冊程度で学習研究、講座開催、また子育て支援の各機能も有する「堀金図書館」を核とした、地域市民の活発な交流の拠点として整備。
- 整備場所については、新市庁舎建設に伴い空くことになる堀金総合支所内の一部、また堀金保育園の跡地など候補地はいくつかあるが、既存施設利用、もしくは新設も含め必要な施設規模と機能を、今後の状況を的確に判断し、決定することが重要と思われる。

5. 明科交流学習センター

- 明科地域では、「子どもと大人の交流学習施設」において、他地域で整備される交流学習センターが目指す市民活動がすでに展開されており、今後は、この施設の活用をさらに充実することが求められる。

農 業

安曇野の特性を生かした産地づくりへ

安曇野市水田農業推進協議会設立総会が11月15日、三郷公民館で開かれました。協議会は、JA・農業者・消費者・農業関係団体などで構成され、安曇野の特徴を生かした産地づくりに向け、地域・農家・関係機関が一体となって取り組みます。この日は、「新たな需給調整システムに向けた体制整備」「生産目標数量の配分ルールの設定」「水田農業構造改革交付金の制度設計」などの事業計画を承認したほか、国が進める新たな需給調整システムに関する概要の説明も行われました。



安曇野の米づくり。そのあるべき姿について検討する

消 費 者

身近な例を知って消費者被害防止 ～困ったら、すぐ相談～



出前講座のご希望は市民環境部環境課(TEL82・3131)まで

悪質な業者が巧妙な手口で、高齢者などを狙って高額の現金をだまし取る悪質商法の被害を防止するため、市では、消費生活相談員である望月弘充さんが講師を務める「消費者の被害予防出前講座」を開催しています。11月20日には、耳塚老人クラブの皆さん約30人が穂高老人保健センターで受講しました。望月さんは、市内で実際に起きた事例やだまされないための注意点、クーリング・オフ制度などを紹介し、おかしいと思ったら、県や市の窓口にご相談をしてくださいと呼び掛けていました。

行政委員会

教育委員会と固定資産評価審査委員会 新委員紹介

任期に満了に伴う教育委員と固定資産評価審査委員の人事案が10月13日に行われた臨時議会に提出され、それぞれ議会の同意を得て決まりました。

教育委員は、川名^{かわな}洪^{こうりゅう}氏が退任し、新たに益子^{ますこみつ}光^{みつ}麿^{まろ}氏が選任しました。任期は、平成22年11月8日までの4年間です。

固定資産評価審査委員は、小穴^{おなかなじ}恒^{かんじ}司^し氏が再任されました。任期は、平成21年11月8日までの3年間です。

また、監査委員^{とどろくたかぞう}の轟^{とどろく}孝^{たか}三^{ぞう}氏が11月30日付けで退任されました。

教育委員



益子光麿氏
(新任)

固定資産評価審査委員



小穴恒司氏
(再任)



中部学校給食センター完成予想図



南部学校給食センター完成予想図

■中部学校給食センター概要

- ・鉄骨2階建て(延床面積…1951.47平方^{メートル})
- ・豊科・明科地域の小・中学校7校分(2,500食)を提供

■南部学校給食センター概要

- ・鉄骨2階建て(延床面積…1793.05平方^{メートル})
- ・三郷地域の小中学校2校分と豊科地域の小学校1校分(2,500食)を提供

安曇野市中部学校給食センター(豊科南穂高)と南部学校給食センター(三郷明盛)建設工事の起工式が11月13日、それぞれの建設地で行われました。式に出席した平林市長は「最新の設備で、子どもたちに安全でおいしい給食を提供できると自負しています。安曇野の子どもたちが安心・安全な給食で心

身ともに健康に育ってくれることを願っています」とあいさつしました。両学校給食センターは、衛生面に配慮したドライシステム、太陽光発電システムを導入するほか、食物アレルギーに対応した給食(30食)を調理する専用室も設置されます。来年7月に完成する予定で、8月から子どもたちに給食を提供します。建設地は、中部学校給食センターが豊科北小学校北側に、南部学校給食センターが、三郷小学校の南側になります。新学校給食センターの建設は、豊科・三郷・明科地域にそれぞれある給食センターが老朽化したため合併前から検討委員会を設置し、建設費や運営コストなど、多角的に検討を行った結果、3つの施設をそれぞれ建て替えるのではなく、市内2カ所に建設する計画に決まりました。

子どもを守るために通学路安全マップを作成

教育委員会は、市内17小・中学校の通学路の危険箇所などを掲載した「通学路安全マップ」を作成し、各学校・総合支所などに配布しました。

学校をはじめ家庭、地域で子どもを守るために作成し、各学校ごとの通学路を中心に「不審者が出没しやすい場所」や「交通量が多い道路」、「子どもを守る安心の家」などを掲載しています。

個人や団体は、教育委員会で閲覧できます。



給食センターの建設が始まる

中部・南部学校給食センター



春に向け、自分たちの実力を試す

11/12 安曇野少年野球交流大会

安曇野少年野球交流大会（豊科野球クラブ保護者会主催）が11月12日、豊科県民グラウンドと豊科北中学校グラウンドで行われました。

同大会は、市内の中学校をはじめ、新潟、富山、山梨県などから8チームが参加して、トーナメント方式で行われました。1・2年生が中心となった新チームの実力を試すとともに、来シーズンに向けて技術を磨く機会として、選手たちは、全力で白球を追いかけて、熱戦を繰り広げました。



安曇野のたまねぎでCM大賞を受賞

12/3 第6回ふるさとCM大賞 NAGANO

ふるさとの魅力をもつ30秒のCMで伝える「ふるさとCM大賞」（長野朝日放送主催）の最終審査会が12月3日、長野市内で行われました。

この日は、県内市町村から応募のあった93作品の中から一次審査を通過した34作品の審査が行われました。安曇野市のあづみのビデオクラブが制作し、安曇野産たまねぎのおいしさをコミカルに描いた「安曇野産たまねぎと韓国ドラマ」が大賞に選ばれました（写真）。また、素人劇団押野一座の作品も上映され、それぞれ安曇野をアピールしました。この模様は、1月8日（火）午後3時30分から放送されます。

変化に富んだコースを楽しむ

11/23 シクロクロスミーティング安曇野大会

自転車のクロスカンントリーといわれるシクロクロスミーティング第3戦安曇野大会が11月23日、明科・自然体験交流センター「せせらぎ」特設コースで行われました。

この日は、県内外の小学生から大人まで約80人が参加し、未舗装の道路や田んぼ、人工障害物など、変化に富んだ約3.1kmのコースを選手たちは、疾走しました。大会は、実力別・年齢別に分かれ、決められた時間内にコースを何周できるかを競い合うもので、選手たちは仲間や家族の声援を受けながら、レースに臨んでいました。



本格的な冬を迎える安曇野

市内の冬の装い

11月下旬から市内は、徐々に冬の装いを始めました。

国営アルプスあづみの公園のイベント「森の光物語」が12月8日から始まり、冬の夜を彩る約20万球のイルミネーションに、公園を訪れた親子連れなどが酔いしれました。

また、冬の使者ハクチョウたちが今年も飛来し、23回目の冬を過ごしています。7月の豪雨災害の影響が心配されましたが多くのハクチョウがやって来ています。

りんごの晩成種「ふじ」の出荷が最盛期を迎えた11月下旬、三郷のJAあづみ果実中央選果所では、選果と箱詰め作業が行われていました。箱詰めされたりんごは、関東、関西、遠くは九州に向けて出荷されました。

安曇野の冬は、さまざまな表情を見せています。



安曇野が生んだ芸術家・萩原碌山の純愛物語

2/3 放送予定ドラマ「碌山の恋」

今年の5月に碌山美術館などを中心に撮影が行われたドラマ「碌山の恋」（TBS系）が2月3日（土）午後2時から全国放映されることが決まりました。

ドラマは、史実をヒントにしたフィクションで、日本の近代彫刻のパイオニアといわれる芸術家・萩原碌山の傑作「女」が誕生するまでの、碌山と相馬黒光の純愛の物語を描いています。また、日本の原風景といわれる安曇野の美しい四季折々の風景も登場します。演出・脚本は、大町市出身の合津直枝さんが担当し、碌山役を若手俳優の平山広行さん、黒光役を水野美紀さんが演じます。



「松本サリン事件」から学ぶ

12/3 安曇野市人権啓発講演会

人権啓発講演会（安曇野市・松本地域人権啓発活動ネットワーク協議会主催）が12月3日、豊科公民館で行われました。

この日は、「松本サリン事件」から学ぶと題し、事件当時、犯人のように扱われ、さまざまな被害を受けた河野義行さんが講演をしました。河野さんは、自身や家族などが受けた報道被害や自白の強要など警察捜査の問題点などを話し、「まだ何もはっきりしないうちに、自分だけでなく、家族や自分にかかわる人たちも排除しようとする世の中はおかしい」と話しました。会場には、約400人が訪れ、河野さんの話に、メモを取るなど熱心に耳を傾けていました。

生涯学習だより

安曇野市教育委員会

企画展

田淵行男記念館 企画展 「山をうたう」詩×写真×田淵行男展

写真：
田淵行男撮影
「午後の山 三ツ岳」
1966

「山・里・花・蝶」をキーワードに、田淵行男の詩の世界に着目して、山岳写真・生態写真とともに構成します。

■会期 3月4日(日)まで

■会場 田淵行男記念館

■観覧料

個人：大人300円・小人200円、団体：大人200円・小人100円

■展示説明会

毎月第3日曜日
午後1時30分から

■休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)

■問い合わせ 田淵行男記念館
(TEL 72・9964)

生きていることが
不思議に思われる
生きていることが
悲しく思われる
生きていることが
うれしく思われる

(山頂の朝)

田淵が生涯をささげて作り上げた作品集は、どれもこだわりに満ちています。これらの作品集を語る上で特筆すべきことは、その心情を雄大な自然や小さな動植物に託し吐露していることといえます。ある時は、八ヶ岳や浅間山の豊かな山ろくの楽しみを和やかに歌い上げ、またある時は、開発の進む安曇野の自然に向かい哀惜を持って静かに祈る。これらの詩は彼の写真作品から切り離せぬ要素であり、作品を理解する上でも重要な手掛かりとなります。この詩性に魅せられる人も多く、作家独自の世界を際立たせています。この展覧会で、田淵の視点から見つけた自然界の魅力をぜひご覧ください。

美術館では
「第4回バラの花写真展」
開催中!

展覧会

豊科近代美術館 収蔵品展を開催

豊科近代美術館では、常設展示されていない宮芳平、奥村光正の作品などを公開する「収蔵品展」を開催します。特に奥村光正作品の展示は、平成17年の「あなたの町の奥村光正展」以来で、安曇野市誕生後初となります。ぜひご覧ください。

■会期

1月5日(金)～3月11日(日)

■会場 豊科近代美術館 2階 企画展示室

■入館料 一般500円・大高生300円・中小生150円
(常設展・バラの花写真展を含む)

■問い合わせ 安曇野市豊科近代美術館 (TEL 73・5638)

講座

豊科郷土博物館 白鳥写真教室(初心者向け)

安曇野の冬を代表する風物詩となったコハクチョウの越冬も、23シーズン目を迎えました。

そこで豊科郷土博物館では、初飛来のシーズンから毎年開催している「白鳥写真展」への出品を前提として、初心者向けの写真教室を開催します。

今回は、穂高柏原出身でハクチョウを20年間見つめ続けている中島泰樹さんを講師に、野鳥の生態観察会とハクチョウの写真教室を行います。

この機会に、カメラを片手に野鳥観察に出掛けてみませんか。

■期日 2月3日(土)

■会場 豊科田沢白鳥湖周辺・明科御宝田・穂高狐島(復旧工事の進展とハクチョウ飛来地により変更あり)

■日程 豊科郷土博物館(集合・午前6時30分)～市内ハクチョウ飛来地・田淵行男記念館(見学)～豊科郷土博物館(講評・解説の後、正午に解散)

■講師 中島 泰樹さん(日本自然科学写真協会会員・日本野鳥の会会員)

■対象 一般(初心者向け・当館での白鳥写真展への出品を前提とする)

■参加費 1,500円(バス代・講座料・入館料・保険代)

■持ち物 飲み物・雨具・カメラ(機種不問)・筆記用具・防寒具など

■申し込み 1月10日(水)から21日(日)までに、郷土博物館窓口にて参加費を添えてお申し込みください。
■問い合わせ 豊科郷土博物館
(TEL 72・5672)

おすすめの一冊

14歳からの哲学 池田晶子 著



紹介する人

おかにわ けんじ
岡庭 賢二さん(明科七貴)

日常当たり前だと思っていることについて深く考えたことがありますか。題名から連想する哲学は、ややもすると難解なことをイメージします。ところが、私たちが当たり前だと思っていることが本当はどうかを具体例を挙げて掘り下げ、平易な表現で説明しています。人生では、自分で考えて知ることとは、そのきつかけを与えてくれます。何かをもっと知りたいという強い気持ちになれる本です。

展覧会

豊科郷土博物館友の会 第32回押絵展

豊科郷土博物館では、友の会押絵部による「第32回押絵展」を開催します。

押絵は布細工の一種で、布の芸術ともいわれます。花鳥や人物など、ほんの小さな布切れが織り成す世界は、創ることの素晴らしさを教えてくれます。

今回は、「子ども」をテーマとして、子どもの遊びやしぐさをかわいらしい押絵で表現します。また、平成19年の干支であるイノシシをテーマとした作品や、正月らしい羽子板の作品、およそ60点を展示します。

■会期 1月7日(日)～21日(日)

■会場 豊科郷土博物館展示室

■入館料 大人100(80)円・小中学生50(40)円(カッコン内は20人以上の団体料金)

■休館日

1月9日(火)・15日(月)

■問い合わせ 豊科郷土博物館
(TEL 72・5672)

図書館 ドキドキ・ワクワクお話の世界
1月のおはなし

豊科 おはなしたんぽぽ

豊科公民館和室 (Tel.72・2158)

19日(金) 16:30～

穂高 おはなしとしゃかん

穂高会館講義室 (Tel.84・0111)

20日(土) 10:30～(幼児対象)
11:20～(5歳以上対象)
*大人も楽しめます。

三郷 ポケットの会

三郷公民館児童室 (Tel.77・2109)

13日(土) 10:00～(幼児・小学生対象)

堀金 おはなしのへや

堀金図書館児童コーナー (Tel.72・5796)

10日(水) 11:00～(幼児対象)
17日(水) 15:30～(小学生対象)
16:00～(保育園児対象)

明科 おはなしの会

明科図書館おはなしコーナー (Tel.62・1122)

10日(水)・24日(水) 11:00～(幼児対象)
15:00～(小学生対象)
17日(水)・31日(水) 11:00～(幼児対象)

講座

三郷公民館スポーツセミナー
導引養生功教室

今回は中国政府公認の医療氣功「導引養生功」の古導引八段錦を取り上げます。名前は複雑ですが、気軽にできる運動です。氣の流れと姿勢、呼吸、心を一体にして、ゆっくりと動きます。音楽に合わせて楽しくでき、全身の緊張を和らげ自然治癒力を高めます。

■日時 1月31日・2月7日・14日・21日のいずれも水曜日、

午後1時30分～3時(全4回)
■場所 三郷公民館講堂
■講師 植野 和子さん(全日本導引養生功連盟公認普及員)
■定員 先着30人
■服装 運動のできる服装
■持ち物 上履き(運動靴)
■その他 あらためて通知等はいたしませんので、申込者は、当日会場までお越しください。
■申し込み 1月24日(水)までに三郷公民館に電話でお申し込みください。
■問い合わせ 三郷公民館 (TEL 77・2109)

講座

豊科マレットゴルフ協会
マレットわいわい楽習塾

豊科マレットゴルフ協会では「マレットわいわい楽習塾」として、2つの講座を開きます。冬のひととき、料理や健康づくりを心豊かに楽習しませんか。
■申し込み・問い合わせ 1月12日(金)までに豊科教育課生涯学習 (TEL 72・2158)へ。

男性のための
簡単らくらく料理教室

手軽な料理方法を学び、交流の輪を広げ、仲間づくりをしませんか。
■日時 1月～3月(5回)
1月17日(水)・2月2日(金)・27日(火)・3月6日(火)・23日(金) 時間はいずれも午前10時～正午
■場所 豊科保健センター
■持ち物 エプロン、手ぬぐい
■講師 小川 智子さん(保健センター栄養士)

講座

穂高公民館 成人講座
ワイン基礎知識講座

ワインは世界中の人々に親しまれ、国産ワインの人氣も高くなっています。一方で、どれを選んでもいいか分からないという声もよく聞かれます。

そこでこの講座では、ラベルの見方や料理との相性、ワインの歴史などを楽しく学びます。

ワインの基礎知識を知って食生活により豊かにしてみませんか。

■日程 2月1日(木)・8日(木)・15日(木)(全3回)

■時間

午後7時～午後8時30分

■場所 穂高会館 第2会議室

■対象 市内在住の成人

■定員 30人(先着順)

■講師 西牧 穂高さん(日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザー・塩尻志学館教諭)

■受講料 600円

■申し込み受付 1月10日(水)～24日(水)までに、穂高教育課窓口にある所定の用紙に記入の上、参加費を添えてお申し込みください。なお、定員になり次第締め切ります。

■問い合わせ 穂高会館内穂高教育課 生涯学習係 (TEL 82・5970)



健康づくり

第2回安曇野市三郷
元日健康づくりの集い

運動不足の解消と1年の健康を願って、年の初めから体を動かしませんか。澄んだ空気の中、自分のペースで歩いたり、走ったり。運動後には、温かいとん汁のサービスもあります。

■日時 1月1日 午後1時～

■集合 三郷公民館前

■コース 二木ウオーキングコース(約2・5キロ)

■その他 申し込み不要。当日時間までにお越しください。

■問い合わせ 三郷公民館 (TEL 77・2109)

講座

ひまわり塾
社交ダンス講座
初心者コース

初歩的なパーティーダンスをゆっくりなペースで繰り返しレッスン。誰でも短期間で踊れるようになります。

■対象 年齢・住所問わず15人

■日時 1月16日(火)から毎週火曜日(全10回)

■時間

午後7時30分～午後9時

■場所 明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」

■講師 島岡 多恵子さん

■受講料 1回 1,000円

■持ち物 上履き(運動靴)

■申し込み方法

1月12日(金)(午前9時から午後5時、月曜日を除く)までに電話でお申し込みください。応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

■申し込み、問い合わせ

明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」

(TEL 62・2001)

■定員 男性20人

■受講料 無料(材料費は必要に応じて徴収します)



楽しく健康づくり
健康楽動倶楽部

歩いたり、簡単なゲームをしたりストレッチをして楽しく健康づくりをします。

■日時 1月～3月(10回)

※第1回は1月15日(月)の午後1時30分～3時

■場所 豊科武道館剣道場

■持ち物 上履き(運動靴)、タオル

■講師 横川 修子さん(市体育指導委員)

■その他 定員は30人で、受講料は無料(教材費は必要に応じて徴収します)



私の
場合

みんなと、週1回
運動をしています。

まつしま ひさ み
松島 久美 さん (穂高有明)

5月から公民館で行われている「お元氣会」へ参加しています。誰でもできる簡単な運動やレクリエーションが週に一度、1時間ほど行われており、無理なく参加しています。

この3カ月は皆勤しました。みんなで楽しくやれるのが良いところだと思います。始めてから腰の痛みがだいぶ和らいできました。ひざが痛くて正座ができなかったのに、できるようになった人もいます。これから寒くなりますが、家ではなかなかできないことなので、続けたいと思います。

生活習慣病予防と両輪

高齢者の健康づくりには、介護予防と生活習慣病予防の両方が欠かせません。まずは脳血管疾患などの「生活習慣病予防」が重要なポイントになります(すでに治療や指導が必要な人は医師等の指示に従ってください)。

加えて、「介護予防」に取り組みましょう。例えば「物をかむ力を維持したり、義歯のチェックをしたりして口の健康を保つ」、「食べ物を好き嫌いなくバランスよく食べ、体力を保つ」、「おいしく食べることができるように1日1回は近所へ散歩に出かける」、「物忘れ防止のために週2回は自分で買物に出かける」などです。

地域活動もおすすめ

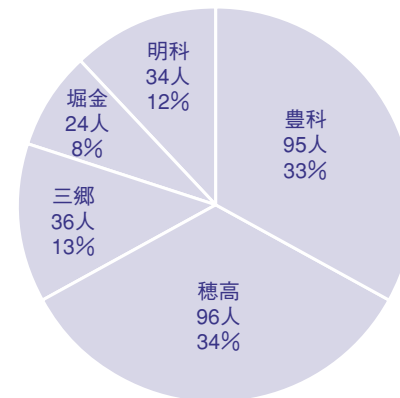
平成18年度の基本健康診査の中で、65歳以上の皆さんには「健康のおたずね」など含めた「生活機能評価」を実施しました。

この結果「介護予防が必要」とされた人には、市地域包括支援センターなどの保健師が個別にお伺いします。

現在は、積極的な介護予防が必要ないとされた人は、地域で実施しているさまざまな活動への参加をおすすめします。いずれも支所健康福祉課や市地域包括支援センターへご相談ください。

高齢になるにつれ、体力や健康状態の個人差が大きくなります。人と比べず、できることから始めてみましょう。

グラフ1 市の介護保険新規申請者数
(平成18年4～8月)



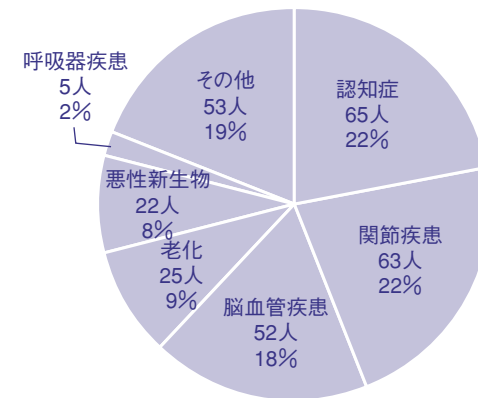
生活機能低下を防ぐ

介護保険を利用する人は、年々増加しています。安曇野市でも要介護認定者数が増えているのが現状です。

高齢者の多くは健康的に暮らしていますが、加齢により心身の衰えも少しずつ目立つようになります。

介護が必要になる原因は、病気だけではなく「生活機能の低下」もあると

グラフ2 介護保険新規申請者の主な原因疾患
(平成18年4～8月)



いわれています。(グラフ2)

生活機能の低下とは、日常生活を送るために必要な機能が低下すること、「もう年だから」「おつくうだから」と使わないでいると老化がどんどん進んでしまいます。このため市では、生活機能の低下を防ぐ介護予防事業を行っています。

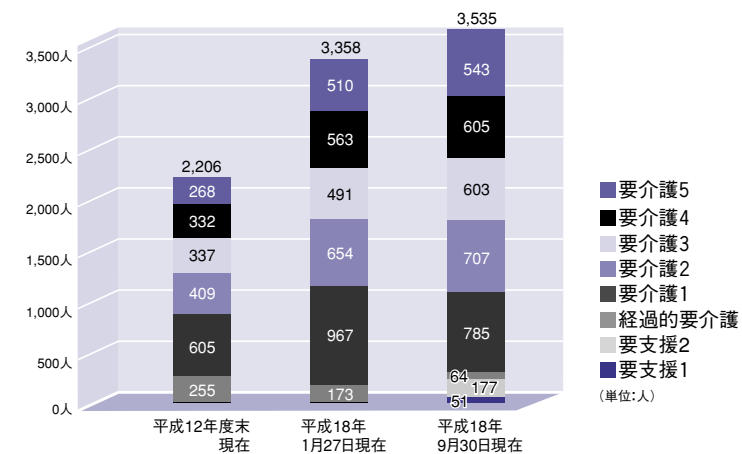
老化は防げませんが、日常生活に必要な機能は、ちよつとした心掛けである程度の維持・向上が可能です。

1月の休日当番医

	1※	2※	3※	7日	8※	14日	21日	28日
病院・医院	村上医院 82-2103[穂高]	穂高病院 82-2474[穂高]	村上医院 82-2103[穂高]	宮沢医院 62-2052[明科]	平林医院 62-2227[明科]	古川医院 82-4385[穂高]	百瀬医院 82-2205[穂高]	清沢医院 82-7600[穂高]
	榎本内科医院 73-0616[豊科]	中田医院 82-2339[穂高]	須澤クリニック 82-2993[穂高]	前角整形外科医院 82-1478[穂高]	高橋医院 82-2561[穂高]	石田医院 72-2766[豊科]	根津内科医院 82-8382[穂高]	ふじもり医院 72-2011[豊科]
	木暮医院 77-2119[三郷]	岡村耳鼻咽喉科医院 72-2102[豊科]	丸山内科クリニック 72-6188[豊科]	こうの内科循環器科 71-5881[豊科]	中島整形外科 72-3543[豊科]	鶴見医院 72-4500[豊科]	赤津整形外科クリニック 76-3133[三郷]	たかはしクリニック 77-7880[三郷]
	みずほ歯科医院 77-7111[三郷]	佐野歯科クリニック 82-2073[穂高]	天野歯科医院 73-4182[豊科]	林歯科医院 62-2403[明科]	矢島歯科医院 72-2163[豊科]	丸山歯科医院 82-7505[穂高]	下條歯科医院 72-7433[堀金]	笠原歯科医院 72-2108[豊科]

※休日当番医は変更される場合があります。当日は休日医療情報案内でご確認ください。(☎ 0120-890-423)

グラフ3 要介護認定者数の推移





勤労者互助会・加入者の募集

Check

安曇野市勤労者互助会では、会員を募集しています。加入できる事業所は、市内の従業員数が300人以下の事業所です。未加入の事業主の皆さんは、この機会に事業所の福利厚生制度を充実させてはいかがでしょうか。

■入会金・月会費（一人当たり）

- ・入会金 300円
- ・月会費 350円

※事業主の負担になります。また、損金として計上できます。

■主な事業内容

・共済給付事業

結婚祝金・出生祝金・傷病見舞金・勤続祝金・死亡弔慰金など

・厚生事業

各種提携施設等の割引、人間ドック補助、余暇活動支援事業など

・生活資金保証料補給事業

長野県労働金庫の生活資金融資の利用に対し、保証料の一部を補給します

■問い合わせ

三郷総合支所内
安曇野市勤労者互助会事務局(TEL77・3111)



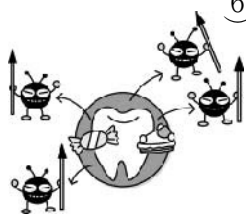
理工系学生対象

合同企業説明会 i n 松本

Check

ヤングハローワーク松本では、管内企業の技術者を中心とした人材確保対策と学生の郷土企業研究の場として、理工系学生を対象とした合同企業説明会を開催します。

- 日 時 1月4日(木) 午後1時～5時
(午後12時30分から受付)
- 場 所 ホテルブエナビスタ3階
- 対 象 者 平成20年3月理工系大学等卒業予定者
理工系大学等1・2年生
上記の学生の家族
- 問い合わせ ヤングハローワーク松本 (TEL31・8600)



- 日 時 1月18日(木)
午後1時30分～3時30分
- 場 所 穂高健康支援センター
安曇野市歯科医師会の先生による講義
- 問い合わせ 穂高健康支援センター
内健康福祉部健康推進課
(TEL81・0726)

フッ化物洗口勉強会

むし菌予防のためのフッ化物洗口について一緒に考えてみませんか。

- 問い合わせ 穂高総合支所内市民環境部市民課国保年金担当
(TEL82・3131) または各総合支所市民環境課市民係

■申請に必要なもの

- ・安曇野市国民健康被保険者証
- ・母子手帳その他出産予定日がわかる書類
- ・認め印

引いた額を被保険者に支払います。

国保に加入している皆さんへ 出産育児一時金の受取代理制度

市では、子育て支援の一環として出産費用を支払う皆さんの医療機関等窓口での負担を軽減のために、12月から「出産育児一時金受取代理」の申請の受付を開始しました。

この制度を利用し、事前に申請すると市は直接、医療機関へ出産育児一時金(35万円)を支払いますので、皆さんは35万円を超えない

た金額を医療機関に支払うこととなります。なお、従来の支払い方法も利用できます。

■対象 市の国民健康保険に加入し、出産育児一時金の支給を受ける見込みがあり、出産予定日まで1カ月以内の人。ただし、税の滞納がある場合は、総合支所窓口でご相談ください。

■申請方法 出産予定日までの1カ月以内の期間に、申請書を市から取得し、出産を予定する病院等に持参して、同意を得た後、



土地利用に関する 地域別懇談会を開催します

市では、次の日程で土地利用に関する地域別懇談会を開催します。この懇談会では、土地利

用構想調査専門委員会・市民検討委員会の検討内容や10月に実施したアンケート調査の報告をしながら市民の皆さんのご意見を伺います。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

■問い合わせ 豊科総合支所内

都市建設部都市計画課

(TEL72・3111)

地 域	対 象 地 区	日 時	場 所
豊 科	成相・新田・本村・寺所・踏入・細萱・重柳	2月3日(土) 午前10時～	豊科ふれあいホール
	上鳥羽・下鳥羽・吉野・真々部・たつみ原・飯田・下飯田・中曽根・熊倉・アルプス	2月3日(土) 午後2時～	
	徳治郎・田沢・小瀬幅・大口沢・光・桜坂	2月4日(日) 午前10時～	
三 郷	小倉地区・温地区	2月17日(土) 午前10時～	三郷公民館講堂
	明盛地区	2月17日(土) 午後2時～	
明 科	潮・潮沢・木戸・上生野・塩川原・荻原・南陸郷	2月18日(日) 午前10時～	明科公民館講堂
	大足・宮中・町・明科・光・上押野・下押野	2月18日(日) 午後2時～	
穂 高	有明地区・北穂高地区	2月24日(土) 午前10時～	穂高会館講堂
堀 金	全域	2月24日(土) 午後2時～	堀金総合体育館 サブアリーナ
穂 高	穂高地区	2月25日(日) 午前10時～	穂高会館講堂
	柏原地区・牧地区	2月25日(日) 午後2時～	

安曇野市消防団出初式

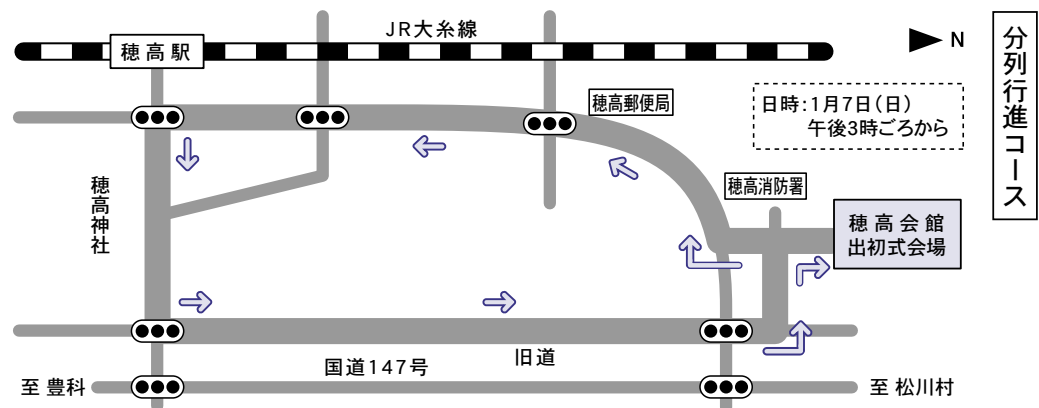
安曇野市消防団では1月7日(日)午後1時から穂高会館にて平成19年安曇野市消防団出初式を行います。

当日は第1部「式典」、第2部「服装点検」「機械器具点検」「分列行進」を行います。

第2部の分列行進は午後3時ごろから午後4時ころまで分列行進コース(下図)を音楽喇叭隊の吹奏に合わせて約900人の団員と20台の消防車両が行進します。ぜひ、年に1度の出初式をご覧ください。

なお、この時間帯、周辺道路は分列行進に伴い、車両の通行を規制します。ご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ 豊科総合支所内 防災交通課 (TEL72・3111)



分列行進コース

日時:1月7日(日)
午後3時ごろから

穂高会館
出初式会場

入札契約結果（平成18年10月分）

（単位：円）

工 事 名	工事箇所	請負者	請負代金
宮本教員住宅下水道接続工事	明科中川手	明科設備（株）	2,572,500
（国補・市単）豊科公共下水道 野田中央枝線第1工区管渠工事	豊科光	猿田建設（株）	43,890,000
（国補・市単）穂高公共下水道 豊里1工区管渠工事	穂高有明	（株）関組	48,510,000
（国補・単独）特環公共下水道 新屋14工区管渠工事	穂高有明	山崎建設（株）	45,150,000
（国補・市単）特環公共下水道 嵩下13工区管渠工事	穂高有明	（有）丸正小林建設	30,660,000
（国補・市単）穂高公共下水道 塚原4・2工区管渠工事	穂高柏原	（株）大丸組	39,900,000
御宝田水のふるさと公園災害復旧工事	明科 御宝田	（株）横内組	8,715,000
（国補・市単）豊科公共下水道 細萱東幹線第1工区管渠工事	豊科南穂高	（株）山本組	31,185,000
（国補・市単）豊科公共下水道 細萱北幹線第1工区管渠工事	豊科南穂高	（株）佐原建設	26,250,000
（国補・市単）豊科公共下水道 下中曽根幹線第3工区管渠工事	豊科高家	立商工事（有）	16,695,000
（国補・市単）特環公共下水道 嵩下14工区管渠工事	穂高有明	（株）赤羽組	37,569,000
（交付金・市単）穂高公共下水道 北穂高幹線第6工区管渠工事	穂高北穂高	信和建設（株）	21,525,000
（国補）穂高公共下水道 烏川水管橋架設（下部工）工事	穂高柏原・牧	横山建設（株）	20,370,000
（国補・市単）特環公共下水道 富田27工区管渠工事	穂高有明	共和興業（株）	26,250,000
市道有明935号線 現道舗装工事	穂高有明（古厩）	（有）丸正小林建設	6,300,000
市道西穂高230号線 側溝・舗装修繕工事	穂高牧	（株）ハイテム	6,510,000
道路改良工事	豊科田沢南原 市道豊科東部91号線	（有）太田建設	2,520,000
道路改良工事	豊科新田 市道豊科中部664号線	渡辺建設	4,200,000
道路維持事業 市道豊科北部205号線ほか 上下水道舗装本復旧工事	豊科高家 熊倉	（株）ワークメイト	4,830,000
安曇野市中部学校給食センター建設工事	豊科南穂高	戸田・横山建設共同企業体	766,500,000
安曇野市南部学校給食センター建設工事	三郷明盛	守谷・山共建設共同企業体	735,000,000
ふるさと農道緊急整備事業 南部地区	豊科高家	（株）振興建設	15,540,000
ふるさと農道緊急整備事業 北部地区（重柳）	豊科南穂高（重柳）	（有）藤原興業	4,305,000
ふるさと農道緊急整備事業 中部地区（熊倉）	豊科高家（熊倉）	（株）ワークメイト	5,670,000
ふるさと農道緊急整備事業 中部地区（本村）	豊科（本村）	（有）太田建設	3,675,000
市単市道新設改良事業 市道豊科東部142号線 側溝整備工事	豊科光（仁場沢下流）	渡辺建設	3,990,000
交通安全施設整備事業 穂高地域安全施設設置（第1期）工事	穂高	中信測機（株）安曇野営業所	2,982,000

国営アルプスあづみの公園では、寒い冬でも元気に遊び、温かいものを食べて楽しめるイベント「新あづ

国営アルプスあづみの公園イベント
新あづみの体験く冬く



■申し込み・問い合わせ
あづみ野ランド（TEL 82・0256）

■その他 年末年始休業は、12月30日～1月1日です。なお、1月3日（水）の午後1時30分から先着100人におしるこを振る舞います。

■申込方法 1月4日（木）から電話で、あづみ野ランドにお申し込みください。

■アクアビクス（水中健康教室）
金曜コース（全11回）
・初回 1月19日（金）
・時間 午後1時45分～
・定員 35人
・受講料 2,200円
・使用料（毎回）600円
※各教室入浴料込みです。



http://www.azumino-go.jp

■開園時間
午前9時30分～午後4時
■問い合わせ
公園管理センター（TEL 71・5511）

■入園料 大人400円 小人80円 幼児無料
※団体割引あり

※詳しくは公園管理センターへお問い合わせください。

■内容
・おしるこ、ブリ雑煮などの振る舞い（無料・数量限定）
・三九郎、まゆ玉作りなどの新春イベント（無料・数量限定）
・安曇野アートライン美術館展
・アンパンマンショー
・手作りプラネタリウム
・スノーシュー、ソリ（降雪時）
・冬芽の観察、アニマルトラッキングなどの自然観察会

みの体験く冬くを開催します。

■期間 1月6日（土）～2月12日（月・祝）

武蔵野市への芸術文化の旅に出掛けませんか



東京都・武蔵野市と旧豊科町との姉妹都市の盟約が結ばれて19年。「武蔵野市への芸術文化の旅」も今年で22回を迎え、毎年市民の皆さんが武蔵野を知る絶好の機会となっています。今年は、『ウィーン放送交響楽団』のオーケストラ鑑賞をメインに、武蔵野市内の散策など、1泊2日の旅を計画しました。ぜひ、ご参加ください。

■日 時 2月5日（月）～6日（火）
■場 所 東京都武蔵野市
■対 象 市内在住・在勤の人
■参 加 費 16,000円（6日（火）の昼食は個人負担）

■定 員 20人（定員を超えた場合は抽選）
■申込受付 1月12日（金）午前9時～午後5時までに電話で豊科総合支所地域支援課へお申し込みください。
※年末年始12月29日（金）～1月3日（水）および土日・祭日は受け付けません。

■その他 詳しい日程などは、後日申し込まれた人に通知します。
■申し込み・問い合わせ 豊科総合支所地域支援課（TEL 72・3111）

糖尿病予防講演会

市では「糖尿病予防講演会」を開催します。この機会に糖尿病について考えてみませんか。

■日時 1月28日（日）

午後1時30分～3時30分

■場所 穂高健康支援センター

■内容 『糖尿病のうそ・ほんと』

■講師 相澤徹さん（信州大学医学部センター長・教授）

■問い合わせ 穂高健康支援センター内健康福祉部健康推進課

（TEL 81・0726）



介護保険等運営協議会委員を
公募します

市では、介護保険事業等の円滑な運営と、中立・公平性を図るため、「安曇野市介護保険等運営協議会」を設置します。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、介護保険サービス等の質の確保や向上を図るために、介護や福祉に関する施策についての検証や評価を被保険者の立場から

参画してもらえる人を募集します。

■応募資格 市内在住の65歳以上の

■募集人員 若干名

■任期 委嘱の日から平成20年3月31日（年2～3回開催予定）

■応募方法 1月19日（金）までに、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる地域社会づくり」をテーマに1,200字程度（書式自由）の小論文にまとめ、住所・氏名・年齢・性別・連絡先を記入して、郵送またはメールにて高齢者介護課介護保険係まで提出してください。選考結果は、応募者全員に通知します。

■問い合わせ

〒399・8303 安曇野市穂高9181番地 穂高健康支援センター内 高齢者介護課介護保険係（TEL 81・1636）

Eメール ko-kaigohoken@city.azumino.nagano.jp

■市営住宅・特公賃住宅入居者

市営住宅（柏原団地・一日市場団地・柳瀬団地）と特定公共賃貸住宅（追分団地）の入居者を次のとおり募集します。

■募集住宅

▽穂高・柏原団地（1戸）

・間取り 2K（平屋）

▽三郷・一日市場団地（1戸）

・間取り 3K（2階建て）

▽明科・柳瀬団地（1戸）

・間取り 3DK（2階建て）

▽穂高・追分団地（2戸）

・間取り 3LDK（2階）

■入居開始日 2月15日（木）

■主な入居資格 安曇野市に住所または勤務場所を有する人など

※詳細は担当係にお問い合わせください。

■申込方法 12月21日（木）から担当係で入居申込書と募集の詳細を記した入居申込案内を配布します。受付期間内に添付書類を添えて提出してください。

※申込者多数の場合は抽選。

■受付期間（土日祝日除く）1月9日（火）～19日（金）

■申込先（担当係）

・各総合支所都市計画担当係

・都市建設部都市計画課

■問い合わせ 豊科総合支所内都市建設部都市計画課（TEL 72・3111）

平成19年度
市職員（非常勤職員）の募集

市では、4月から勤務していただく市職員（非常勤職員）を次のとおり募集します。

- 雇用期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日
- 募集職種 下表のとおり
- 募集人数 いずれの職種も若干名
- 申込期間 1月4日（木）～1月25日（木） 午前8時30分～午後5時15分（土・日および祭日は除く）

応募職種	資格など	問い合わせ・応募書類提出先	勤務条件・応募方法など
一般事務	要パソコン技能（ワード・エクセル）	本庁舎内 総務部人事課（TEL 71・2000）	勤務条件 原則として午前8時30分～午後5時15分。ただし、職種により勤務時間の変更あり。 年次休暇・賃金一時金（賞与）・通勤費・各種保険は、勤務条件により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
電話交換	要経験		
文書配達	要普通運転免許		
レセプト点検・整理	要経験	穂高総合支所内 市民環境部市民課（TEL 82・3131）	応募方法 本庁・各総合支所地域支援課窓口 に置いてある所定の申込書に必要事項を記入して各担当窓口 に持参してください。 ※郵送による受付は、原則不可 ※募集職種により、提出窓口が異なります のでご注意ください。
看護師	要職種資格	穂高健康支援センター内 健康福祉部高齢者介護課（TEL 81・1622）	
介護認定調査	福祉経験者	穂高健康支援センター内 健康福祉部健康推進課（TEL 81・1622）	
ケアマネジャー	要職種資格	穂高健康支援センター内 健康福祉部児童保育課（TEL 81・1622）	選考方法 必要に応じ、面接などを実施する場合があります。 詳しくは申込書の受付時にお知らせします。
保育士・幼稚園教諭・栄養士	要職種資格	穂高健康支援センター内 健康福祉部健康推進課（TEL 81・1622）	
保育（幼稚）園給食調理		穂高健康支援センター内 健康福祉部健康推進課（TEL 81・1622）	
保健師・看護師 運動実践指導者・歯科衛生士	要職種資格	明科総合支所内 教育委員会学校教育課（TEL 62・3001）	
学校図書司書	要職種資格	明科総合支所内 教育委員会学校教育課（TEL 62・3001）	
学校事務	要パソコン技能（ワード・エクセル）	明科総合支所内 教育委員会社会教育課（TEL 62・3001）	
図書館司書	要職種資格	明科総合支所内 教育委員会社会教育課（TEL 62・3001）	
施設管理		明科総合支所内 教育委員会社会教育課（TEL 62・3001）	
給食調理		豊科給食センター（TEL 72・2674） 穂高給食センター（TEL 82・2657） 三郷給食センター（TEL 77・5820） 堀金給食センター（TEL 72・2328）	

総合窓口	上記給食センター以外は、各総合支所（問い合わせ先）に電話を転送できますので、ご不明な点がございましたら、まず総務部人事課（TEL 71・2000）にお問い合わせください。
------	---

（単位：円）			
職種	時給	日額	月額
一般事務	800	6,400	—
施設管理	屋内	800	—
	屋外	750	—
給食調理	学校給食センター	850	—
	保育園	850	—
図書館司書・学校図書司書	850	6,800	142,800
保育士・幼稚園教諭	930	7,400	153,800
看護師	1,000	8,000	166,000
保健師・管理栄養士	1,030	8,200	170,200
文書配達	850	6,600	—
介護認定調査	—	8,000	—
ケアマネージャー	—	8,500	—

非常勤職員登録制度をスタート

市では、「非常勤職員登録制度」を始めます。これは、1年間を通して勤務することはできないものの、短（時間）期間なら勤務可能な人に、登録していただき、雇用の必要が発生した場合に、市から勤務をお願いする制度です。この制度は、随時、各窓口（お問い合わせ先）で受け付けます。登録方法、制度などの詳しいことは、総務部人事課にお問い合わせください。

穂高地域・開発事業の承認

平成18年10月の開発審査分（承認日 平成18年11月15日）

■虹の村診療所の開発事業

- ・場所 有明7607㎡
- ・開発面積 1,018㎡
- ・目的 来客用駐車場の立地

■横山文雄、横山晶子の開発事業

- ・場所 有明8148㎡
- ・開発面積 679㎡
- ・目的 店舗併用住宅の立地

■等々力不動産の開発事業

- ・場所 柏原2948㎡
- ・開発面積 1,185㎡
- ・目的 建売分譲住宅4区画の立地

※開発面積は土地面積です。

職員人事異動

【総務部】▼人事課（企画財政部企画政策課） 藤森智（平成18年11月13日付）

【都市建設部建設課】▼建設課（豊科総合支所都市建設課） 白坂勝

【教育委員会事務局】▼社会教育課 子ども支援係（学校教育課穂高幼稚園長）金子多貴子 ▼穂高幼稚園園長 丸山武人（平成18年12月1日付）

※市からのお願い：相談会は混雑が予想されます。自分で行える所まで収支計算書の作成をし、相談会では分からない所を質問するようにしてください。

農業所得申告事前相談会を開催

今年もあとわずかになりました。年が明けると申告の時期がきます。市では、次のとおり農業所得申告事前相談会を開催します。今回から農業所得申告については大きな変更点がありますので、必要書類などを整理して申告の準備をしてください。

■受付時間 午前9時～11時
午後1時～4時

■持ち物 農業関連の通帳・売上伝票・領収証（レシート）など農業の収入と経費が分かるもの・印鑑・筆記用具・計算機

※収支計算では、「減価償却費」という経費があります。トラクターやコンバインなど、1年で買い換えないような資産を数年間に渡って経費に計上することを言います。購入金額や購入日によっては過去に取得したものの経費となる場合があります。また、共同購入したのも該当する場合がありますので、領収証などを持参してください。

■問い合わせ 豊科総合支所内税務課市民税担当（TEL 72・3111）または各総合支所内税務係

平成19年度
農業所得申告の変更点

・申告方法の変更点
農業所得申告の計算は、経費目安割合方式が廃止になり、全員が「収支計算方式」で行います。

・収支計算方法とは
収入－経費＝農業所得

▶収入＝販売金額と贈答・家族で食べた分の作物などの金額（経費目安方式と同じ算出方法）

▶経費＝収入を得るために実際に支出した金額（領収証などが必要）

※経費目安割合方式では、経費は収入に一定の割合を掛けて算出していました。

「うきょう」という名
前の響きが日本人らしく、
みやびさがあるとパパが
名付けてくれました。
車が大好きで、寝ると
きもおもちゃの車と一緒に
寝ています。
(ママ・裕美さん)

林
うきょう
祐恭
くん
2歳
(穂高有明)



このコーナーに登場していただける、3歳までのお子さんを募集して
います。【問い合わせ】まちづくり推進課広報広聴係 Tel. 71-2000
Eメール info@city.azumino.nagano.jp

児童館の予定

子育てに関する相談については、右頁をご覧ください。
乳幼児対象の催し物です。

★穂高北部児童館 TEL. 83-5494

お正月遊び会 10日(水) 10:30～11:30

★高家児童館 TEL. 72-5685

子どもサークルB スポーツ・手芸 13日(土) 14:00～15:00
子育て雑談会(山下勝工先生) 9・23日(火) 11:00～12:00

★穂高中央児童館 TEL. 82-2940

お正月遊び会 要予約 13日(土) 10:00～12:00
リトミック教室 要予約 22日(月) 10:30～11:10
園長先生相談日 30日(火) 10:15～11:15
読み聞かせ 毎週水曜日 11:00～11:20

★穂高西部児童館 TEL. 82-2527

お正月遊び会 要予約 19日(金) 10:30～11:30

★明科児童館 TEL. 62-2482

正月お楽しみ会 5日(金) 13:00～
ひまわりっ子クラブ 10:00～12:00
0～1歳児 2～3歳児
正月のあそび 12日(金) 11日(木)
キッズピクス 19日(金) 18日(木)
おはなしサロン 26日(金) 25日(木)

★豊科中央児童館 TEL. 72-0122

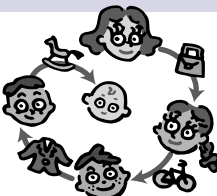
百人一首・かるた大会 5日(金) 14:00～15:00
子ども会議 6日(土) 14:00～14:30
なわとびクラブ 6日(土) 14:30～15:00
絵心教室(講師:近藤佐智子先生) 9日(火) 15:00～16:00
パソコンの日 13・27日(土) 10:00～12:00
卓球の日 13日(土) 14:00～15:00
チャレンジクラブ 20日(土) 14:00～15:00
本と友達 20日(土) 16:00～16:30
移動児童館(本村地区) 27日(土) 10:30～15:00
クロック大会 27日(土) 14:00～15:00

いっしょにあそぼう

絵本・紙しばい 15・22日(月) 11:00～11:30
凧作り 19日(金) 11:00～11:30
リズム遊び 26日(金) 11:00～11:30

キッズリユーズ広場 子ども服などのお下がり交換会
30日(火) 11:00～11:30

不要になった衣類(ほころびがな
く洗たく済みのもの)や保育用品・
おもちゃなどを、当日10:30～11:00
の間にお持ちください。



出品されない皆さんの参加もお待ちしています!!

★南穂高児童館「にこにこランド」 TEL. 71-5150

ママ・キッズピクス 11日(木) 10:30～11:30
赤ちゃん教室 離乳食について 26日(金) 10:30～11:30

児童館の年末年始の休館日は
12月29日(金)～1月3日(水)まで です。

各種相談

場…場所 間…問い合わせ 時…時間



健康に関する
相談・体操

10日(水)・24日(水) 時13:30～15:30
12日(金)・19日(金) 時9:30～11:30
場三郷保健センター・三郷公民館
間三郷保健センター(Tel.77-9111)
※保健師と運動実践指導者による健康体操相談

健康に関する相談は、各保健センターでも随時受け
付けています。

11日(木) 時9:30～11:30
場三郷保健センター(Tel.77-9111)

15日(月) 時9:30～11:30
場岡穂高保健センター(Tel.81-0711)

17日(水) 時9:30～11:30
場岡豊科保健センター(Tel.72-9970)

24日(水) 時9:30～11:30
場岡堀金保健センター(Tel.73-5770)

※管理栄養士による相談です。

平日 時8:30～17:00
場岡健康福祉部児童保育児童係(Tel.81-0727)
※事前にお電話の上、お出かけください。

育児相談・サロン 17日(水)
時10:00～12:00
場岡南穂高児童館(Tel.71-5150)

南穂高児童館は、母乳相談はありません。相談者は、
山下勝工(まさのり)先生です。事前に連絡をいた
ければ、上記以外の日も相談できます。

10日(水)・24日(水) 時9:30～11:00
場岡豊科保健センター(Tel.72-9970)

11日(木) 時9:30～11:00
場岡明科総合福祉センター(Tel.81-2941)

15日(月) 時9:30～11:00
場岡堀金保健センター(Tel.73-5770)

23日(火) 時9:30～11:00
場岡三郷保健センター(Tel.77-9111)

25日(木) 時9:30～11:00
場岡穂高保健センター(Tel.81-0711)

※保健師・助産師・管理栄養士・歯科衛生士が応じます。
※母乳相談は 要予約

子育て相談(小川原容子相談員) 12日(金)
時10:30～12:00
場岡豊科中央児童館(Tel.72-0122)

子育て相談(助産師) 16日(火)
時9:30～12:00 要予約
場岡穂高中央児童館(Tel.82-2940)



結婚相談



年金相談



介護相談



教育相談



心配ごと相談
(行政相談)



人権相談所

1 January 月の予定

14日(日) 時13:00～16:00
場岡堀金老人福祉センター(Tel.73-5288)

21日(日) 時13:00～16:00
場岡豊科ささえあいセンター「にじ」(Tel.72-3013)

28日(日) 時13:00～16:00
場岡明科総合福祉センター(Tel.62-2429)

10日(水)・24日(水) 時9:30～16:00
場岡豊科公民館 間松本社会保険事務所(Tel.32-5821)

11日(木) 時13:30～15:30
場岡三郷総合支所健康福祉課(Tel.77-3111)

25日(木) 時13:30～15:30
場岡三郷福祉センター(Tel.77-8080)

毎週月・水・木・金曜日(3日・祝日を除く)
時9:00～16:00

場市教育相談室(豊科公民館内)(Tel.72-2238:直通)

9日(火)・16日(火)・23日(火)・30日(火)
時9:00～15:00 場岡豊科公民館(Tel.72-2158)

※幼児期の子育て(個別相談) 要予約
※非行・中退・不登校等の子ども(個別相談) 要予約

6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)
時9:00～15:00 場岡豊科公民館(Tel.72-2158)

※非行・中退・不登校等の子ども(個別相談) 要予約

9日(火)・23日(火)
時14:00～16:00 場岡豊科公民館(Tel.72-2158)

※グループ学習・親の会

10日(水)・17日(水)・24日(水)・31日(水)
時15:00～17:00 場岡穂高勤労者福祉センター

間教育委員会学校教育課(Tel.62-0133)

毎週火曜日(2日を除く) 時9:00～12:00
毎週木曜日 時14:00～17:00

場岡三郷公民館(Tel.77-2109)

毎週月・金曜日(祝日を除く) 時10:00～16:00
場岡堀金公民館(Tel.72-5796)

毎週火曜日(2日を除く) 時9:00～16:00
場岡明科総合支所(Tel.62-3177)

9日(火)・★23日(火) 時13:00～16:00
場岡穂高地域福祉センター(Tel.82-2940)

10日(水)・★24日(水) 時13:00～16:00
場岡豊科ささえあいセンター「にじ」(Tel.72-3013)

11日(木)・★25日(木) 時13:00～16:00
場岡三郷福祉センター(Tel.77-8080)

12日(金)・★26日(金) 時13:00～16:00
場岡明科総合福祉センター(Tel.62-2429)

15日(月)・★22日(月) 時13:00～16:00
場岡堀金老人福祉センター(Tel.73-5288)

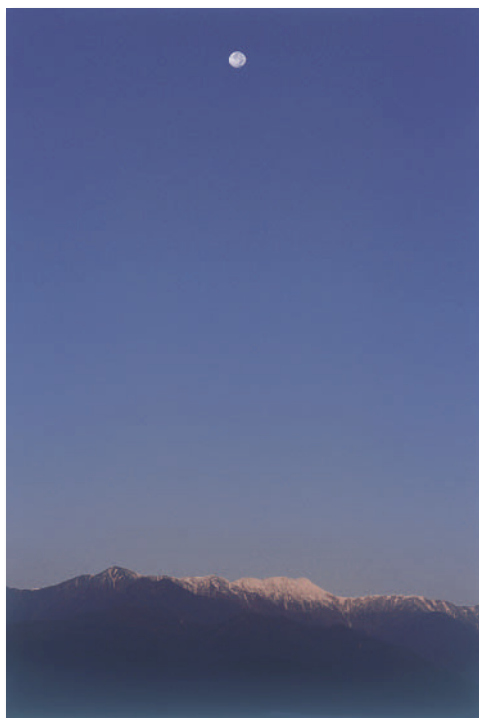
※★印は行政相談を同時開催

間心配ごと相談…上記へ
間行政相談…総務部総務課(Tel.71-2000)

12日(金) 場岡堀金総合支所
時10:00～15:00 間法務局松本支局(Tel.32-2571)

初冬の玉兎ぎよくと

— 大天井岳上空に映える —



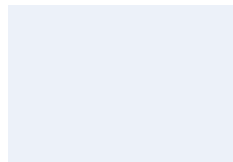
初冠雪を迎えた朝
長峰山から西山を望む。
おてんしょうの上空に
青白く映える玉うさぎ。
凍りつく指を添え
静かにシャッターを切る。
虚空の時をとどめながら
白々と夜が明け放たれる。

安曇野



其の十五

今月の色



月白

Geppaku

月の光のように
わずかに青みを帯びた白

編集後記

◆今年1年、広報紙をお読みいただき、ありがとうございました。作成している紙面の向こう側に、常に市民の皆さまがいることを意識し、見やすく分かりやすく、そして何より見て、読んでいただける広報紙を目指してきましたつもりですが、いかがでしたでしょうか。係の皆で反省会も開き、新年へ向け、また心機一転、やっていきたいと思っています。

◆「普通に生きるのも楽じゃねえなあ」。帰り際、親愛なる上司が言いました。家族が病気をしたり、お金が足りなくなったり…。確かに普通に生きることは案外、大変です。まちづくりは「公」を育む過程ですが、その基軸には「個」の日常がある。日常は時に退屈でくすんで見えますが、個が輝きを放つのもやはり日常の中にあるます。今月の特集は、そんなねらいも込めました。来年が皆さまにとって良き年でありますように。

2006. 12. 1現在 ()内は対前月比
人口 ————— 99,254人(+7)
男 ————— 48,089人(+14)
女 ————— 51,165人(-7)
世帯 ————— 35,646世帯(+32)

広報 あづみの

発行日 平成18年12月21日
編集・発行 長野県安曇野市役所企画財政部
まちづくり推進課広報広聴係

URL <http://www.city.azumino.nagano.jp>
印刷 アサカワ印刷(株)

印刷経費1部 38円
次回発行… 1月18日(木)

古紙配合率100%
再生紙を使用しています。



本 庁 舎
豊科総合支所
穂高総合支所
三郷総合支所
堀金総合支所
明科総合支所

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4932番地46
〒399-8205 長野県安曇野市豊科4340番地
〒399-8303 長野県安曇野市穂高6658番地
〒399-8101 長野県安曇野市三郷明盛4810番地1
〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川2750番地1
〒399-7102 長野県安曇野市明科中川手6824番地1

TEL 0263-71-2000
TEL 0263-72-3111
TEL 0263-82-3131
TEL 0263-77-3111
TEL 0263-72-3106
TEL 0263-62-3001

FAX 0263-71-5000
FAX 0263-72-8340
FAX 0263-82-6622
FAX 0263-77-6060
FAX 0263-72-4900
FAX 0263-62-4747